

令和2年9月18日 議会運営委員会 議事録
9時58分 開会

○出席委員 (5人)

副委員長 和田 芳弘

委員 北地 範久、西村 一啓、網谷 芳孝、日域 究

議長 細川 雅子

副議長 寺岡 公章

○欠席委員 (1人)

委員長 児玉 朋也

○和田副委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

本日は、児玉委員長より欠席の届けが出ております。代わりに副委員長において議事を運営させていただきます。よろしくお願いします。

市長がお見えになっております。御挨拶をお願いします。

市長。

○入山市長 議会運営委員会開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○和田副委員長 ありがとうございます。

それでは、議事日程に従いまして議事を進めたいと思います。

日程1、議案の取り扱いについてを議題といたします。

執行部から、議案(その3)の概要について説明をお願いいたします。

総務部長。

○中村総務部長 それでは、令和2年9月大竹市議会定例会(第5回)議案の概要(その3)について御説明をさせていただきます。

本議案は、令和元年度の一般会計決算、それから特別会計決算の認定についてでございます。

認第14号、令和元年度大竹市一般会計決算でございます。

歳入総額は145億2,496万7,789円、歳出総額が139億5,981万5,080円でございます。差引額として5億6,515万2,709円となっております。このうち継続費に係る繰越額及び繰越明許費に係る繰越額4億6,697万8,233円を差し引いた残額9,817万4,476円が、令和元年度の実質収支黒字額となります。地方自治法第233条の2の規定によりまして、このうち8,000万円を財政調整基金へ繰り入れ、残りの1,817万4,476円を次年度に繰り越しをいたします。

続いて、認第15号でございます。令和元年度大竹市国民健康保険特別会計決算でございます。

歳出総額は33億9,551万3,584円、それに対しまして歳出が33億9,131万4,629円ございました。差引額は419万8,955円となりまして、このうち210万円を国民健康保険財政調整

基金へ繰り入れまして、残りの209万8,955円を次年度へ繰り越しをいたします。

続いて、認第16号、令和元年度大竹市漁業集落排水特別会計決算でございます。

歳入総額は3,017万4,250円、歳出も同額でございまして、差引額はゼロでございます。主な収入といたしましては、使用料、市債、一般会計繰入金などがございます。歳出は施設の維持管理費でございます。

続いて、認第17号、令和元年度大竹市農業集落排水特別会計決算でございます。

歳入歳出同額の4,238万4,143円でございます。こちらも、使用料、市債、一般会計繰入金などが歳入の主な要因でございます。歳出は維持管理費が主なものでございます。

続いて、認第18号、令和元年度大竹市港湾施設管理受託特別会計決算でございます。

歳入総額が8,271万3,021円、これに対しまして歳出総額が5,490万飛んで324円でございます。差引額は2,781万2,697円となっております。このうち県の納付金として18万1,267円、一般会計の繰出金として18万1,268円を含んでおります。残りの2,745万162円につきましては、次年度へ繰り越しを行うものでございます。

続きまして、認第19号、令和元年度大竹市土地造成特別会計決算でございます。

歳入総額は2億8,066万9,685円、歳出総額は8億498万6,355円でございます。差引額はマイナスの5億2,431万6,670円でございます。こちら5億2,431万6,670円の歳入不足につきましては、翌年度の歳入を繰り上げて充用したものでございます。

続きまして、認第20号、令和元年度大竹市介護保険特別会計決算でございます。

歳入総額26億436万3,470円、これに対しまして歳出総額が25億5,644万4,868円でございます。差引額は4,791万8,602円となりまして、このうち3,355万7,070円を介護給付金準備基金へ繰り入れてございます。残りの1,436万1,532円につきましては、次年度へ繰越しをいたします。

続いて、認第21号、令和元年度大竹市後期高齢者医療特別会計決算でございます。

歳入総額は4億8,567万7,204円、これに対しまして歳出総額が4億7,910万7,249円でございます。差引額の656万9,955円、こちらは全額次年度へ繰り越しをいたします。

最後でございます、報告第6号、令和元年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてでございます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律、第3条第1項及び第22条第1項の規定によりまして、令和元年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率について報告をするものでございます。

1、令和元年度決算における健全化判断比率報告書でございます。

実質赤字比率、連結実質赤字比率は記載すべき数字がございませんでした。実質公債費比率は16.1%、前年比マイナス0.5ポイントでございます。将来負担比率は157.3%、前年比比率でマイナスの10.5ポイントとなっております。

主な要因といたしましては、土地造成会計における地方債残高の減少、一般会計からの公営企業債の繰入れ見込額の減少、市営住宅基金の積立てによりまして、充当可能基金が増加したことによるものと考えております。

それから2、令和元年度決算における資金不足比率報告書でございます。

こちら公営企業ごとのものをごさいますて、全ての会計におきまして、記載すべき数値はございませんでした。

以上、簡単でございますけれども概要の説明を終わります。議案の取り扱いについて御審議のほどよろしく願います。

○和田副委員長 ただいま、執行部から議案について説明がございましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 それでは、取り扱いについて事務局から説明をお願いします。
事務局長。

○田中議会事務局長 議案の取り扱いについて、事務局案を御説明申し上げます。

認第14号、令和元年度大竹市一般会計決算から認第21号、令和元年度大竹市後期高齢者医療特別会計決算に至る8件につきましては、一括上程後、提案理由の説明を受け、決算審査について監査委員から報告を受けます。その後、一括質疑、続いて、決算特別委員会の設置、議案の付託、閉会中の継続審査とし、委員の指名と考えております。

次に、報告第6号でございますが、財政健全化法の規定により、執行部から健全化判断比率等の報告を受けることになろうかと考えております。

以上でございます。

○和田副委員長 ただいま、事務局から議案の取り扱いについて御説明ございましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 いいですか。

それではお諮りいたします。

本件の取り扱いについて、事務局案のとおり決して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続いて、日程2、決算特別委員会の設置についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

事務局長。

○田中議会事務局長 決算特別委員会につきましては、本会議の最終日において、議長が設置及び閉会中の継続審査をお諮りし、委員の指名を行うと考えております。本会議終了後、決算特別委員会を開催し、正副委員長の互選、審査日程等について協議を行っていたことになろうかと考えております。

以上でございます。

○和田副委員長 ただいま事務局からの説明がございましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 それではお諮りいたします。

決算特別委員会の設置について、事務局案のとおり決して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続きまして、日程3、議案の提出についてを議題といたします。

事務局からの説明をお願いいたします。

事務局長。

○田中議会事務局長 令和2年6月30日付で、全国市議会議長会会長より、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書の提出について文書による依頼がございました。各会派で調整いただいた結果、大竹市議会としても、当該意見書を提出すべきと判断され、今回、議案として提出する運びとなりました。

続きまして、本議案についての取り扱いの御説明を申し上げます。

本件は、議会運営委員会からの提出ということで、令和2年決議案第1号として、9月23日の本会議最終日に上程し、委員会の付託を省略し即決と考えております。

以上でございます。

○和田副委員長 ただいま事務局から議案の取扱いの説明がございましたが、質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 それではお諮りいたします。

本件の取り扱いについて、事務局案のとおり決して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○和田副委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

以上で、本日本日予定されていた日程は全て終了いたしました。

以上で、議会運営委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

10時11分 閉会